

2020年度までに非小細胞肺癌の治療を受けた患者さんへ 【過去の治療に関するカルテデータの臨床研究への使用許可のお願い】

メディポリス国際陽子線治療センターでは「Ⅰ期非小細胞肺癌に対する陽子線誘発性肋骨骨折の要因分析」という臨床研究を行っております。この研究は、陽子線によって誘発された肋骨骨折の要因を分析し、今後のより良い治療計画シミュレーションの立案に役立てることを目的としています。そのため、治療計画情報や検査画像を含む、患者さんのカルテデータを使用させていただきます。

○ 研究期間

倫理委員会承認後 ～ 2026 年 3 月 31 日まで

○ 研究機関および施設長

メディポリス国際陽子線治療センター センター長 荻野 尚

○ 研究代表者

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 放射線診断治療学分野 近藤 尚明

○ 当施設の研究責任者

センター長 荻野 尚

○ 臨床研究対象者

下記期間中に陽子線治療を受けた非小細胞肺癌の患者さんです。

2011 年 1 月 11 日 ～ 2021 年 3 月 31 日まで

○ 利用する情報

患者さんのカルテデータ、治療計画情報、検査画像

○ 個人情報の取扱い

使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。臨床研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

データ提供先責任者：鹿児島大学大学院 近藤 尚明

【問い合わせ先】

メディポリス国際陽子線治療センター

TEL：0993-23-5188(代) FAX：0993-24-3450(代)

この臨床研究は、今後の医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願いいたします。

